

H31.4.25 時点

奈良県立国際高等学校の概要（素案）

平成31年4月

奈良県教育委員会

I 国際高等学校設置の概要

1 設置形態

- (1) 名 称 奈良県立国際高等学校
NARA Prefectural KOKUSAI High School
- (2) 所在地 奈良市二名町 1944-12
- (3) 課 程 全日制 学年制
- (4) 学 科 国際科
- (5) 規 模 1 学年 5 クラス規模
- (6) 学期制 3 学期制

2 今後の予定

- 2020（令和2）年4月 県立国際高等学校開校
- 2023（令和5）年4月 県立国際中学校開校・併設

※ 国際バカロレアプログラムの導入について、今後具体的な検討を進める

2026（令和8）年度～ MYP(中学校向けプログラム)

2029（令和11）年度～ DP(大学入学資格取得プログラム)

日本語バカロレアで英語による指導を

4教科(英、数、理、社)で行うことを目指す

II グランドデザイン

使命 MISSION



グローバル

多様な人々との積極的なコミュニケーションを通して、グローバルな視点でものごとを捉え、国際社会の平和と発展に貢献する資質・能力を育成する。



知

強い探究心と主体性をもって、国際社会で新たな価値を創造していく自立した態度を育成する。



徳

国際社会で求められる自他を尊重する精神と豊かな感性を育成する。



体

健やかな心身により、国際社会で活躍するための旺盛な行動力を育成する。

学校教育目標 EDUCATIONAL GOAL



社会を牽引することができる、国際社会の平和と発展に貢献する生徒を育てる。



高度な学びのネットワークの拠点校としての役割を果たす。

教育内容 EDUCATION CONTENT



国際対応力を育てる先進教育

国際 ≠ 英語。英語だけじゃない、真の国際人を目指して。



学び

- ・50分×7限授業
- ・ネイティブ教員の授業
- ・第二外国語（必修）
- ・イングリッシュビレッジ



グローバル

- ・留学生と学習
- ・在学中の留学支援
- ・高校生国際会議
- ・アジアスタディツアー



探究

- ・「グローバル探究」
週3時間（1～3年）



ICT

- ・1人1台のタブレット使用
- ・Wi-Fi・プロジェクター整備
- ・スカイプを用いた海外との交流

将来 FUTURE



世界へ

海外大学進学



日本で

国内大学進学

日本で、世界でグローバルに活躍

本校の教育活動と育てたい能力

行事・活動名	グローバル		知			徳		体	
	グローバルな視点	コミュニケーション能力	基礎力	探究心	主体性	自他を尊重する精神	豊かな感性	健やかな心身	旺盛な行動力
学校祭（文化祭+スポーツ大会）		◎			◎	○	○	◎	○
部活動		◎			◎	○	○	○	○
ボランティア（地域貢献・国際貢献）	○	◎			◎	◎	○	◎	◎
日本文化講座	◎		○	○		◎	◎		
地域との連携行事（コンサート）		◎			◎	◎	◎		◎
英語資格試験全員受験		◎	◎	○	○				
イングリッシュビレッジ	○	◎	◎		○	○			◎
「グローバル探究」	◎	◎	◎	◎	○	○	○		◎
高校生国際会議	○	◎	○	◎	◎	◎	○		◎
姉妹校交流・留学生受け入れ	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	◎
エンパワメントプログラム	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○	◎
アジアスタディツアー（海外研修）	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎

○：育てたい能力 ◎：特に育てたい能力

各学年での学び（計画）

<h4>1年生</h4> <ul style="list-style-type: none"> ■ネイティブ教員の授業 ■複数第二外国語 ■英語資格試験全員受験 <ul style="list-style-type: none"> ■全員タブレットで学習 ■全教科でのICT活用 <ul style="list-style-type: none"> ■「グローバル探究Ⅰ」世界の課題を英語で学ぶ探究の方法を学ぶ <ul style="list-style-type: none"> ■留学生とともに学習 ■1年生からの留学にも対応 ■海外大学進学セミナー 	<h4>2年生</h4> <ul style="list-style-type: none"> ■発信重視の英語授業 ■第二外国語 ■イングリッシュビレッジ <ul style="list-style-type: none"> ■タブレットで協働学習 ■スカイプで海外と交流 <ul style="list-style-type: none"> ■「グローバル探究Ⅱ」課題を自ら発見・研究 <ul style="list-style-type: none"> ■アジアスタディツアー ■エンパワメントプログラム ■姉妹校の生徒と交流 	<h4>3年生</h4> <ul style="list-style-type: none"> ■文理バランスのとれた学習 ■思考力を伸ばす学習で国内大学へ <ul style="list-style-type: none"> ■e-ポートフォリオの活用 <ul style="list-style-type: none"> ■「グローバル探究Ⅲ」成果を英語で発表 <ul style="list-style-type: none"> ■高校生国際会議 ■アドバイザーの支援で海外大学へ
--	---	---

IV 教育課程

(1) 教育課程案

国際高校教育課程案								
		※ 2～3年は文・理のクラス分けなし。 理系・文系・留学系の選択パターンから選択して履修する						
		1	2			3		
			理	文	留	理	文	留
国語	国語総合	5						
	現代文B		2	2	2	3	3	3
	古典B		2	2	2	2	2	2
	古典探究			2				
地理歴史	世界史A		2					
	日本史A							3
	世界史B			3	3		2	2
	日本史B							
	地理A			2	2			
	地理B		2			2		
公民	現代社会	2						
	政治・経済						2	2
数学	数学Ⅰ	3						
	数学Ⅱ α		3					
	数学Ⅱ β			3			3	
	数学Ⅱ γ				3			
	数学Ⅲ					5		
	数学A	2						
	数学B		2	2	2			
	数学探究					2	2	2
理科	物理基礎	2						
	化学基礎		2	2	2			
	生物基礎	2						
	物理		2			3		
	化学		2	2科目選択		3	2科目選択	
	生物		2			3		
保健体育	体育	3	2	2	2	2	2	2
	保健	1	1	1	1			
芸術	音楽Ⅰ	2						
	書道Ⅰ	2						
英語	総合英語	4	3	3	3	4	4	4
	ディベート・ディスカッションⅠ α			2	2			
	ディベート・ディスカッションⅠ β		1					
	ディベート・ディスカッションⅡ					2	2	2
	エッセイライティング					2	2	2
(学)国際教養	国際言語Ⅰ	2						
	国際言語Ⅱ		2	2	2			
	国際言語Ⅲ						2	2
	グローバル探究Ⅰ～Ⅲ	3	3	3	3	3	3	3
	ワールドストーリー探究						2	2
	サイエンス探究						4	
	グローバル理数探究							3
	国際教養Ⅰ				2			
	国際教養Ⅱ							4
家庭	家庭基礎		2	2	2			
情報	情報の科学	2						
	ホームルーム	1	1	1	1	1	1	1
	夏期休業中プログラム		1	1	1			
		34	34	34	34	34	34	34

(2) 第二外国語について

	中国	韓国	スペイン	フランス	ドイツ	その他
国連 公用語	○		○	○		ロシア アラビア
共通テスト 外国語科目	○	○		○	○	
バカロレア DP 公式教授言語			○	○		
母語話者 1億人以上	○		○	○	○	ヒンディ アラビ ア ベンガル ポ ルトガル ロシア
来県客 H29 20万人以上◎ 3万人以上○	◎	◎		○		香港 台湾 タイ マレーシア
県と友好提携	○	○				スイス
(参考) 中学生の希望		○	○	○	○	アラビア

(参考) 高取国際高校 中国 韓国 スペイン フランス
一条高校 中国 スペイン フランス ドイツ

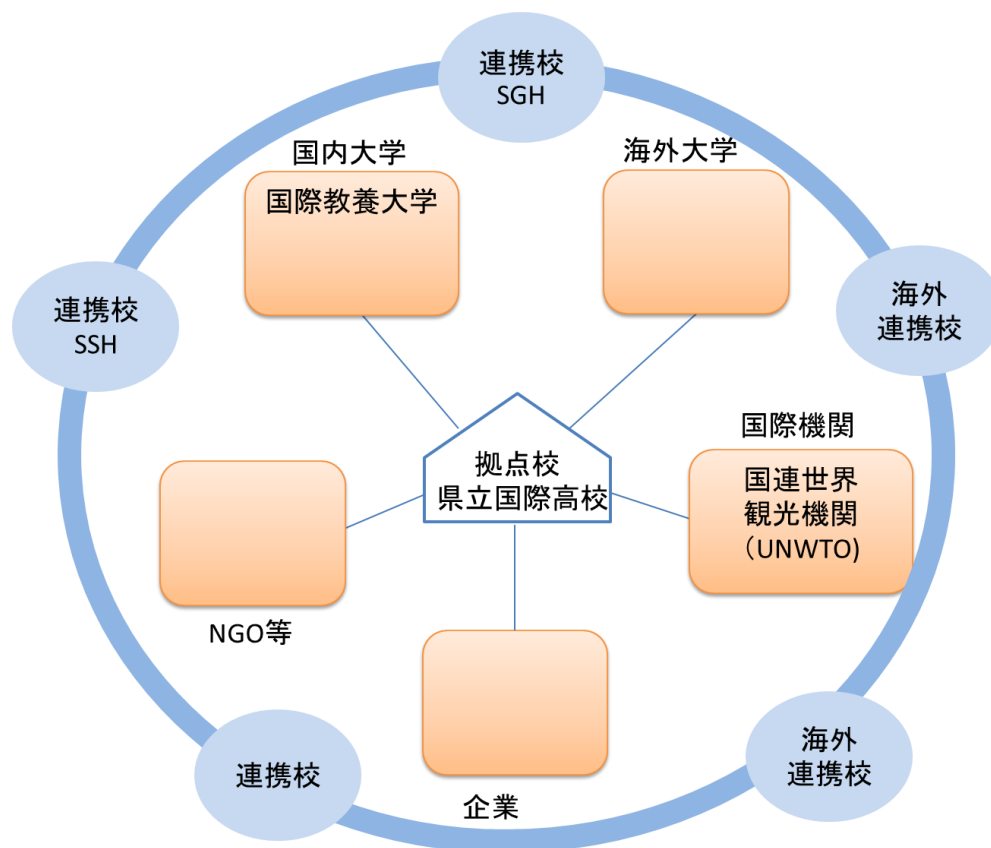
2 カリキュラム案

1年次(2単位) 必修	1ターム(4週間)	外国語①
	2ターム(4週間)	外国語②
	3ターム(4週間)	外国語③
	4ターム(4週間)	外国語④
	5ターム(4週間)	外国語⑤
	2学期末	継続履修したい言語を選択
	3学期	選択した言語やその国の文化について研究
2年次(2単位) 必修	通年	選択した外国語を通年で履修
3年次(2単位) 選択	通年	選択した外国語を通年で履修

【参考】AL（アドバンスラーニング）ネットワークの構築（国費10/10）

文部科学省「WWLコンソーシアム構築支援事業」の活用 2020～2022年度の3年間

具体的な取組（例）	本県の取組予定
グローバルな社会課題研究のカリキュラム開発	
外国語や文理両方の複数の教科を融合し、学校設定科目「グローバル探究」	週3時間（1～3年） 教科横断的な授業
テーマと関連した国内外の高校生が参加する「高校生国際会議」の日本開催	UNWTO と共催した会議の開催 （2年目冬か3年目春）
海外研修をカリキュラムの中に体系的に位置づけ	アジアスタディツアー（2年）
海外からのハイレベル人材を受け入れ、日本人高校生と留学生と一緒に授業・探究活動	JFIE、AFSの協力により留学生を学年8名受け入れ（1・2年）
大学教育の先取り履修を単位認定するなど高大接続による高度かつ多様な科目内容のプログラム	国際教養大学に協力依頼
コミュニケーション能力を重視した外国語（複数含む）の先進的な授業を実践	第二外国語 5言語のオムニバス形式
ICTの活用による海外との連携の強化	一人一台のタブレットの活用
外国語によるテーマと関連した課題研究論文	エッセイライティング（3年）
教員研修、セミナーの実施	国際教養大学、UNWTOと連携



VI 入学者選抜（検討中素案）

I 特色選抜

(1) 趣旨

【国際科】

英語をはじめ、全教科の学習に意欲的に取り組み、探究心のある生徒を募集します。

(2) 募集人員並びに検査成績と調査書成績の取扱等

学科	募集人員	実施検査の種類と配点等				調査書成績	
		学力検査	学校独自検査	面接	検査成績の満点	調査書において重視する教科（加重配点）	調査書成績の満点
		国語・数学・英語の3教科の満点					
国際科	64名 (32%)	120 (各教科40点満点)	ライティング 20 口頭試問 30	30	200	—	135

《 調査書の特別な取扱い 》

実施学科	国際科
重視する事項	実用英語技能検定準2級以上（CEFR A2レベル）
合格人数枠	12名
満点	10点（調査書成績の満点：145点）

(3) 検査に関する事項

〔学校独自検査〕

ライティング：英作文等によって英語で表現する力をみる。

口頭試問：個人面接方式で英文の音読及び英語による応答によって英語で表現する力をみる。一人7分程度。

〔面接〕

個人面接：自己アピール文を基に、中学校での取組や高校生活への抱負、将来の希望などについて問う。一人5分程度。

自己アピール文については、世界とのかかわりの中でのこれまでの実績や入学後の意欲等について記載する。

2 一般選抜

学科	学力検査		調査書成績の満点	面接 の 有無
	国語、社会、数学、理科、英語の5教科の満点	(加重配点)	調査書成績の満点	
国際科	250 (各教科50点満点)	英語、数学 (検討中)	135	無

※ 特色選抜による合格者数が募集人員に満たなかった場合、一般選抜の募集人員にあわせて追加募集。

《 調査書の特別な取扱い 》

実施学科	国際科
重視する事項	実用英語技能検定準2級以上 (CEFR A2 レベル)
合格人数枠	12名
満点	10点 (調査書成績の満点：145点)

VII 海外からの編入学

年間を通じて、随時、海外からの帰国生徒等の積極的な受け入れを行う

VIII 学校生活

1 学校行事

既存3校の伝統ある行事等の中で、国際高校で育てたい能力が身につけられるものについて導入予定（グランドデザインの中で検討中）

2 部活動

国際高校部活動のコンセプトに基づいて新たな部活動の設置を検討

国際高校部活動のコンセプト

- ・様々な体験を通して、豊かな感性や健やかな心身を育成する
- ・目標、計画を自ら作成して活動することで、主体的な態度や行動力を身につける
- ・異学年や留学生との活動により、コミュニケーション力を育成する
- ・技術・競技力を向上させるだけでなく、今後グローバルに活躍するための経験の場としての役割を重視する

併置期間は登美ヶ丘高校と協議

3 校則

併置期間は登美ヶ丘高校と協議

その後は、生徒がSTUDENT BOOKを作成

4 制服（報告）

決定方法：制服製造業者委託プロポーザル

期 日：プレゼン：令和元年5月30日 保護者意見聴取：令和元年6月1日

選考基準：デザイン、価格、素材、機能性、縫製、サービス

選考方法：国際高校指定物品検討委員会で業者を決定（令和元年6月）

結果通知：令和元年6月末頃

5 校章

決定方法：一般公募

公募期間：令和元年5月15日～7月19日

選考基準：コンセプト オリジナリティ デザイン

選考方法：国際高校検討協議会で校章候補を決定（令和元年8月）

結果発表：令和元年9月頃ホームページで発表

表 彰：最優秀作品 表彰状と副賞3万円 ※18歳以下は図書カード等
優秀作品 表彰状と副賞1万円

6 校歌
開校後、1期生とともに作成

7 校時表
開校より2年間は登美ヶ丘高校の校時表に準ずる

IX 学校運営体制 (管理運営WG)

1 教職員組織

国際高等学校に必要な教員像については、今後管理運営WG、教職員課で検討

2 危機管理体制

X 学校説明会等

(第1回)

令和元年6月1日(土) 14:00~16:30 なら100年会館大ホール

(第2回) 予定

令和元年9月28日(土) 9:00~12:00 県立登美ヶ丘高等学校

(リーフレットの配布)

令和元年6月 県内全域 中学校3年生

9月 北部地域 中学校3年生 その他地域 各中学校10部

XI 今後の検討課題